

令和 2 年第 21 回美唄市教育委員会会議録

- 1 と き 令和 2 年 12 月 18 日（金）
午後 4 時 00 分～午後 4 時 20 分
- 2 ところ 教育委員会室
- 3 出席委員
天野教育長 高橋教育委員 齋藤教育委員 土肥教育委員 今野教育委員
- 4 説明員
阿部教育部長 村上学務課長 高橋学務課長補佐 桜井学務課長補佐
原田学校給食センター所長 橋本生涯学習・スポーツ振興課長
伊藤生涯学習・スポーツ振興課参事 谷川生涯学習・スポーツ振興課長補佐
青木総務係長
- 5 開会
今野委員を署名委員に指名
会期を 1 日と決定
- 6 議件名
・その他 1 令和 2 年第 4 回市議会定例会一般質問について

概要記録

16:00

●天野教育長 ただ今から、令和2年第21回美唄市教育委員会議を開会いたします。

順序第1 会議録署名委員に今野委員を指名します。次に順序第2 会期の決定につきましては本日1日といたします。次に順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いいたします。教育部長。

●阿部教育部長 11月17日第20回教育委員会議以降につきまして、教育長の動向についてご報告申し上げます。なお、本日、村上指導室長が公務のため欠席いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●天野教育長 教育長報告、行事報告・行事予定について事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。高橋委員。

●高橋委員 JICAについてですが、今後、継続ということはないのでしょうか。

●天野教育長 阿部教育部長

●阿部教育部長 今のところ継続の予定はされていないと伺っております。

●高橋委員 学校訪問の際に引き続き継続してほしいという要望があったものですから、今、お話を伺いました。

●阿部教育部長 窓口につきましては、市の企画広報課企画係になっております。もし、募集のお話がありましたら学校と相談していきたいと思っております。

●天野教育長 他にありませんか。なければ、次に移ります。次に順序第4 その他1 令和2年第4回市議会定例会一般質問について、事務局から説明をお願いいたします。阿部教育部長。

●阿部教育部長 令和2年第4回市議会定例会についてです。

1 日程につきましては、12月1日から12月10日まで開催されました。12月4日・7日は一般質問、12月8日は常任委員会、12月10日は本会議の最終となっております。

2 提案議案につきましては、「令和2年度美唄市教育委員会の活動状況に関する評価・点検（平成31年度事業対象）」報告事項として提出いたしました。

条例改正につきましては2件ございました。① 「美唄市放課後児童施設の一部改正の件」② 「美唄市体育センター条例の一部改正の件」についてですが、可決

されております。

人事案件につきましては、「美唄市教育委員会委員任命の件」についてご承認をいただいております。

3 一般質問につきましては、全部で8人の議員の方が一般質問にされました。内、教育委員会関係につきましては、5人の議員の方が一般質問を行いました。それでは、概要についてご説明いたします。

※一般質問（添付資料 別紙）

●天野教育長 ただいま、事務局から報告がありましたが、何かご質問等はございませんか。質問等ないようですので、その他1 令和2年第4回市議会定例会一般質問を終了します。以上で本日の議事については終了しましたが、他に何かございませんか。なければ、これをもちまして令和2年第21回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ありがとうございました。

16:20 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員

天野 暁子

別紙 1

教 育 長 報 告

自 令和 2 年 11 月 17 日

至 令和 2 年 12 月 17 日

区 分	会 議 等	
11月17日	第 20 回教育委員会議	教育委員室
24日	美唄市立美唄中学校道德研究会	美唄中学校
24日	J I C A 報告会	市長会議室
25日	美唄市研究指定校公開授業研究会	南美唄中学校
26日	青少年育成功績者表彰状授与（～27 日まで）	市内各所
27日	学校力向上に関する総合実践授業第 3 回地域協議会	第 3 会議室
30日	美唄市研究指定校公開授業研究会	南美唄小学校
12月 1 日	令和 2 年第 4 回市議会定例会（～10 日まで）	議場他
10日	びばい市民カレッジ閉校式	ピパオイの里プラザ
17日	社会教育委員会議	市長会議室

上記のとおり報告する。

令和 2 年 12 月 18 日

美唄市教育委員会

教育長 天 野 政 俊

11 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
17	火				
18	水	第 8 回教頭会議	9:30	第 3 会議室	関係者
19	木				
20	金	市民カレッジ③	9:30	尚栄高校	市民
21	土	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	市民
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	市民
28	土				
29	日				
30	月				

12 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	火	「美唄の昔・今～写真と数字で見る移り変わり」展（20日まで）	9:00	郷土史料館	市民
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日				
7	月				
8	火				
9	水	第9回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
10	木	市民カレッジ⑤閉校式	14:00	ピパオイの里プラザ	市民
11	金				
12	土	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	市民
		体験講座「ランタンづくり」	10:00	郷土史料館	市民
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	第9回定例教頭会議	9:30	第3会議室	関係者
17	木				

1 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	金				
2	土				
3	日				
4	月	仕事始めの式	10:30	教育長室	学務課
5	火				
6	水	ものづくりマイスター	9:30	中央学童	生涯学習・スポーツ振興課
7	木	ものづくりマイスター	9:30	東学童・南美唄学童	生涯学習・スポーツ振興課
8	金	キッズ・アートスクール	9:00	尚栄高校	生涯学習・スポーツ振興課
9	土	英語でHAPPYNEWYEAR	10:30	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
		おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
16	土	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		体験講座「凧作り」	9:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
17	日	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
18	月				
19	火				
20	水	第10回定例校長会議	9:30	第3会議室	指導室
21	木				
22	金	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
23	土				
24	日				
25	月				
26	火	第3回青少年指導員専任指導員会議	15:30	市長会議室	生涯学習・スポーツ振興課
27	水	第10回定例教頭会議	9:30	第3会議室	指導室
28	木				
29	金				
30	土				
31	日				

件 名 3 教育行政について

中項目 (1) 体育施設整備について

質問内容

① 総合体育館について (特にアリーナの状況)

施設全体の老朽化の状況、大会開催回数や関係者参加者数についてお聞きしたい。

全道大会クラスでも利用され、近隣地域からみても優位性があると考えられるが、教育委員会としての施設に対する認識や、アリーナに対する修繕等の今後の対応についての考えを伺う。

② サン・スポーツランドのテニスコートについて

テニスコートの現状、サン・スポーツランド全体とテニスコートの利用状況、大会開催回数や関係者参加者数についてお聞きしたい。テニスコートの老朽化の状況と、整備の考えについて伺う。

答弁内容

(体育施設の整備について) ですが、

はじめに、総合体育館につきましては、昭和 63 年に開設され、32 年が経過し、屋根については平成 26 年度に大規模改修をしたところであります。

また、大会開催につきましては、平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間の年間平均で、全道大会 7 回、管内大会で 17 回、市内

大会で18回、大会関係利用者数も年間平均で9,888人となるなど、市民はもとより、近隣市町村も含めスポーツ交流人口の増加に大きく寄与している施設となっております。

次に、総合体育館のアリーナにつきましては、専門業者による現地での点検を実施しており、今後、どのような改修整備を行うかなど、十分検討してまいりたいと考えております。

次に、サン・スポーツランド美唄につきましては、昭和62年に開設し、平成3年度にクレートニスコートとして4面、平成22年度に人工芝テニスコートとして6面の改修を行い、併せて10面の利用が可能となっています。

テニスコートの利用者数は、平成29年度14,437人、その他の施設で1,078人、平成30年度10,215人、その他の施設で1,183人、令和元年度で11,735人、その他の施設で769人と、テニスコート利用者が大半となっている状況が続いているところです。

次に、大会の開催につきましては、平成29年度から令和元年度までの3年間の年間平均で、全道大会5回、管内大会で2回、市内大会で4回、大会関係利用者数も年間平均で4,241人となるなど、市民はもとより、近隣市町村も含めスポーツ交流人口の増加に大きく寄与している施設となっております。

現在、クレートニスコートは改修後29年が経過し、経年による痛みや、使用による損耗等も進んできており、実際に利用している団体等の意見も伺いながら、今後とも、改修整備について検討してまいります。

令和2年 第4回 定例会一般質問

松山 教宗議員

再質問

教育委員会

件 名 3 教育行政について

中項目 (1) 体育施設整備について

質問内容

両施設とも早急に改修すべきと考えるが、考え方を伺う。

答弁内容

(体育施設の整備について) であります。

多くの競技・種目の利用が可能で、利用者数も多く、市民への影響がより大きい施設の整備を優先して進めてまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、各体育施設につきましては、全般的に老朽化が進んでいることから、今後とも計画的な改修に努めてまいります。

令和2年 第4回 定例会一般質問

松山 教宗議員

再々質問

教育委員会

件 名 3 教育行政について

中項目 (1) 体育施設整備について

質問内容

市民への影響がより大きい施設の整備を優先して進めてまいりたいと考えております、との答弁でありましたが、総合体育館のアリーナと、サン・スポーツランド美唄のクレーテニスコートの両施設とも早急に改修すべきと私は考えていますが、改めて、この両施設の改修について、どちらを優先して考えているのかお答え願います。

答弁内容

(体育施設の整備について) であります、
教育委員会といたしましては、総合体育館アリーナの改修を進めてまいりたいと考えておりますが、いずれにいたしましても、市長部局と十分協議し、進めてまいります。

令和 2 年 第 4 回 定例会一般質問

森 明人議員
教育委員会

件 名 2 教育行政について

中項目 (1) 学校給食費の無償化について

質問内容

- ①令和元年度の就学援助によって給食費を免除されている額は、総額のうちのどのくらいなのか
- ②給食費の滞納は令和 2 年 3 月時点でいくらになっているのか
- ③道内、学校給食費の無償化を実施している自治体はどのくらいあるのか
- ④給食費の無償化について、今までどのような議論がされてきたのか

答弁内容

(はじめに、生活保護及び準要保護の学校給食費の支給状況について) であります、

令和元年度決算における学校給食費の総額 6,407 万 6,561 円のうち、小学校では、延べ 1,455 人で、706 万 527 円、中学校では延べ 851 人で、491 万 7,096 円、合計で 1,197 万 7,623 円となっております。

次に、令和元年度における学校給食費の滞納額についてであります、小学校では 122 万 1,049 円で、滞納率は 3.2%、中学校では 74 万 7,120 円で、滞納率は 2.9%となっております。

次に、学校給食費の無償化を実施している自治体についてであります。道内では 23 市町村の小中学校で実施しており、空知管内では、小中学校ともに無償化を実施しているのは浦臼町、北竜町の 2 町で、三笠市については、小学校の無償化を実施しているところであり、今後とも学校給食費の無償化に取り組む自治体が増加するものと認識しているところであります。

次に、学校給食費の無償化に向けた議論についてであります。本市の未来を担う子どもたちの生きる力を育むことができるよう、無償化又は負担軽減や保護者負担増にならないよう給食の内容の充実が必要であると考えており、これまで主食分の食材費の無償化や学校給食費の半額助成、小学校低学年からの段階的な無償化などについて検討を進めてきたところであります。

令和2年第4回定例会一般質問

森 明人議員

再質問

教育委員会

件 名 2 教育行政について

中項目 (1) 学校給食費の無償化について

質問内容

- ①給食費の無償化へ取り組むべきと考えるが伺う
- ②学校給食の充実に向けた取り組みを進めるべきと考えるが伺う。

答弁内容

(学校給食費の無償化について) であります。

全国的にその実施に取り組む自治体が増えていると認識しており、保護者の所得格差が子どもの貧困につながることなく、子育て世帯の方々が安心して子育てができるよう、今後とも十分協議・検討してまいりたいと考えております。

また、学校給食につきましては、食育を推進するための「生きた教材」であることから、給食を通じて、食の重要性や楽しさ、食に関する正しい知識などの定着を図るとともに、ふるさと給食事業による学校給食の質の充実について、引き続き、取り組んでまいります。

令和 2 年 第 4 回 定例会一般質問

山崎 一広議員
教育委員会

件 名 5 体育振興について

中項目 (1) 市営球場の整備について

質問内容

市営野球場の整備について 3 ヶ年計画で整備されたが、全体的には 2 ～3 割程度の整備かと思います。そこで以下についてお聞きします。

- ①駐車場の舗装について
- ②駐車場の改修整備について
- ③グラウンド内外、スタンド及び練習グラウンド等の整備について

答弁内容

(市営野球場の整備について) であります。

はじめに、駐車場の舗装につきましては、野球場敷地内の本部棟周辺を駐車スペースとして使用しておりますが、未舗装であることから、野球場の入口から野外トイレ、本部棟までの舗装等の整備について、今後とも、十分検討してまいりたいと考えております。

次に、グラウンド内外の整備についてであります。グラウンド内に水はけが悪い個所があることから、暗渠管の敷設について検討するほか、未改修である 1 塁側・3 塁側スタンド・フェンス、練習グラウンドにつきましては、競技や練習に支障をきたす個所について、関係スポーツ団体や競技者の意見を伺いながら、順次、改修整備に努めてまいりたいと考えております。

令和2年第4回定例会一般質問

山崎 一広議員

再質問

教育委員会

件 名 5 体育振興について

中項目 (1) 市営球場の整備について

質問内容

市営野球場は、指定管理者が施設管理をしていると思うが、特に、野球場利用後の本部席は、汚れていてもそのままになっていることが多々みられます。これではせっかく新設した施設も、すぐに傷みがでてしまいます。

そこで、指定管理者等には、どのような指導をしているのか伺います。

答弁内容

(指定管理者への指導について) であります。

野球場利用後のグラウンド整備や本部席を利用した場合などにつきましては、原則、利用団体等において清掃等をお願いしており、指定管理者はトイレ等の清掃等を定期的に行っているところであります。

指定管理者には、野球場利用の許可をするにあたって、利用団体等に、利用後における清掃等の周知について徹底するよう指導してまいります。

令和2年第4回 定例会一般質問

本郷 幸治議員
教育委員会

件 名	2	「新しい生活様式」に向けた諸政策の具体化について
中項目	(1)	デジタル化を取り入れ、オンライン、テレワーク、ワーケーションなどを活用した魅力あるまちづくりと質の高い地域社会を築いていくための具体的な施策の進捗や見通しについて

質問内容

①文化芸術、図書館、公共の施設など、人が集まる空間では、「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立、プッシュ型の情報発信などが「安心」を担保すると考えます。

また、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援についても積極的に推進すべきです。現在の取り組み状況と今後の見通しについて伺います。

答弁内容

(社会教育施設における3密を防ぐ取組について) であります。社会教育施設が混雑し密が懸念される場合につきましては、電話等の利用予約時に人数や利用時間の制限などにより、必要な対応に努めているところであります。

次に、公共施設予約システムの導入について であります。このシステムは、インターネットに接続したパソコンやスマートフォンから、施設の空き状況の確認や施設利用の予約をすることができるため、新型コロナウイルス感染症対策にも有効であると考えておりますが、システム導入費用や利用料金の収納管理などの事務処理が

大幅に変更となるなどの課題もあることから、近隣の市町の動向を注視しながら検討をしたいと考えております。

次に、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた取組みについてありますが、これまでの取組みといたしましては、来館者に対してのマスクの着用や体調の聞き取り、手指のアルコール消毒の励行、施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底するなどの感染対策を実施しているほか、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部が運用する「北海道コロナ通知システム」を活用していただくよう、各施設において周知をしているところであります。また、年度内に発熱者を検知するサーマルカメラを市民会館及び安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄に配置する予定となっております。

次に、今後の取組みにつきましては、日常生活を取り戻していく取組みも大切であり、その中で、文化や芸術、スポーツ活動に取組むことができると考えているため、衛生管理等を徹底したうえで、活動拠点となる社会教育施設の管理を適切に行い、活動する機会や場所の確保について引き続き努めてまいります。

件 名 3 教育行政について

中項目 (1) 教職員の働き方改革と勤務時間について

質問内容

給特法の改正に伴う「1 年単位の変形労働時間制」をはじめとする「働き方改革」について

①勤務時間の適正化などに関して、これまでの文科省、道教委の動きと今後の見通しについて

②服務監督権者として、働き方改革の課題をどう整理し、どう対応してきたか

答弁内容

(働き方改革について) であります。

国においては、昨年 12 月に「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律」が成立し、「休日のまとめ取り」のための 1 年単位の変形労働時間制の導入が可能となったほか、教員の時間外在校等時間の上限を月 45 時間、年 360 時間とする文部科学省の指針が法的に位置づけられたところでございます。

北海道教育委員会においては、平成 30 年に策定した「学校における働き方改革北海道アクション・プラン」に基づき、働き方改革の基本となる在校等時間を客観的に計測するための出退勤管理システムを導入し、教職員の長時間勤務の実態を把握するほか、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの配置、研修の精選など

の取組が行われてきているところです。

また、学校の働き方改革を推進する一つの選択肢として、長期休業期間等における「休日のまとめ取り」のための1年単位の変形労働時間制について、令和3年4月からの導入に向け、学校や市町村教育委員会の意向調査を行い、現在、道議会に条例案が上程されているところであります。

次に、本市における働き方改革の課題についてであります。学校を取り巻く環境の複雑化・多様化、また、これら環境の変化に伴い学校現場も多様化していることから、教員には様々な教育課題への対応が求められているところであり、業務の持ち帰りや時間外における生徒指導などの実態が見受けられているところであります。

このため、教員が健康でやりがいをもって働くことのできる教育環境を整え、子どもたちと向き合う時間を確保することは大変重要であることから、平成30年に業務改善を進める方向を示した、本市の「教職員の働き方改革アクション・プラン」を策定したところであります。

その中で、具体的に教育委員会が行うべき取組や各学校において取り組むべき内容などを定め、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備、さらには、昨年度導入した校務支援システムの出退勤機能の活用や学校長を通じて教員の在校等時間を確認するなど、勤務状況の把握に努めているところであります。

今後におきましても、教員の勤務時間の適正化に向け、実効性のある働き方改革に取り組んでまいりたいと考えております。

令和２年 第４回 定例会一般質問

紫藤 政則議員

再質問

教育委員会

件 名 ３ 教育行政について

中項目 (１) 教職員の働き方改革と勤務時間について

質問内容

- ・１年単位の変形労働時間制について、道教委で各市町村教育委員会に意向調査を行ったとのことだが、いつ、どのような内容で、市教委としてはどのような回答をしたのか。また、どのような協議を行ったのか。
- ・変形労働時間制が、教職員の働き方改革につながると考えているのか。
- ・服務監督教育委員会として、学校、教職員と共有すべきことは共有し、労働実態を把握するべき。
- ・もっと現場の声を聴くべき。

答弁内容

(働き方改革について) ですが、

北海道教育員会が各市町村教育委員会に行った１年単位の変形労働時間制に関する意向調査につきましては、本年９月９日付け通知をもって照会があったところであります。

照会の趣旨といたしましては、各市町村教育委員会の実情に応じて、その所管する学校の教職員が本制度を活用しようとする場合には、あらかじめ北海道において条例整備などを行う必要があること

から、参考として現時点での意向を確認するというものであり、市教育委員会内部で協議を行い「令和３年度から、職員が活用できるよう導入を検討したい」と回答したところであります。

市教委といたしましては、この制度を導入することが、学校における働き方改革につながるものではなく、他の取組と併せて講ずることにより、業務量を確実に削減し、より実効性の高い働き方改革につながるものと考えていることから、更に本制度の理解を深めるとともに、学校現場の意見も伺いながら検討を進めてまいりたいと考えております。

私といたしましては、教員の長時間労働は、本市のみならず、各自治体における喫緊の課題であると認識していることから、様々な機会を通じて、学校現場の声に耳を傾けながら、勤務実態を把握するとともに、部活動時間や調査業務等の見直しのほか、学校の組織運営に関する見直しを行うなど、教員の業務削減や勤務時間の適正化に向けた取組を進めてまいります。

令和2年第4回 定例会一般質問

紫藤 政則議員

再々質問

教育委員会

件 名 3 教育行政について

中項目 (1) 教職員の働き方改革と勤務時間について

質問内容

変形労働時間制の意向調査について、内部協議だけで決められるのか

対外的に市教委の考え方を示すときに、教育委員の意見・協議については、必要ないのか。

現場の実情、悩みなどの声を、親身になって聞く姿勢が大切

答弁内容

(働き方改革について) であります。

教員の長時間労働は喫緊の課題であると認識していることから、今回の変形労働時間制に限らず、現場の声に一層耳を傾け、教員の業務削減や勤務時間の適正化に反映させてまいりたいと考えております。

また、変形労働時間制の検討に当たりましては、教育委員会の中で、十分論議を深めてまいりたいと考えております。